

事務事業及び予算の執行実績

(令和4年度分「一部、令和5年度分を含む」)

静岡県立浜名特別支援学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	1 8
学校施設の概要	1 9
在籍生徒調	2 0
入学志願者及び入学者数調	2 2
卒業生の動向調	2 3
生徒の状況	2 4
特別支援学校における生産物売払調	2 6
預金調	2 7
郵券等受払調	2 8
材料品受払調	2 8
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	2 9
委託料に関する調	3 1
負担金支出調	3 5
建築工事調	3 6
公有財産調	3 8
借地借家等調	3 8
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	3 9
行政財産貸付・使用許可調	3 9
普通財産・借受財産等貸付調	3 9
主要備品調	4 0
生産物売払調	4 1
職員調	4 6
職員の年齢調	5 1
健康管理	5 2

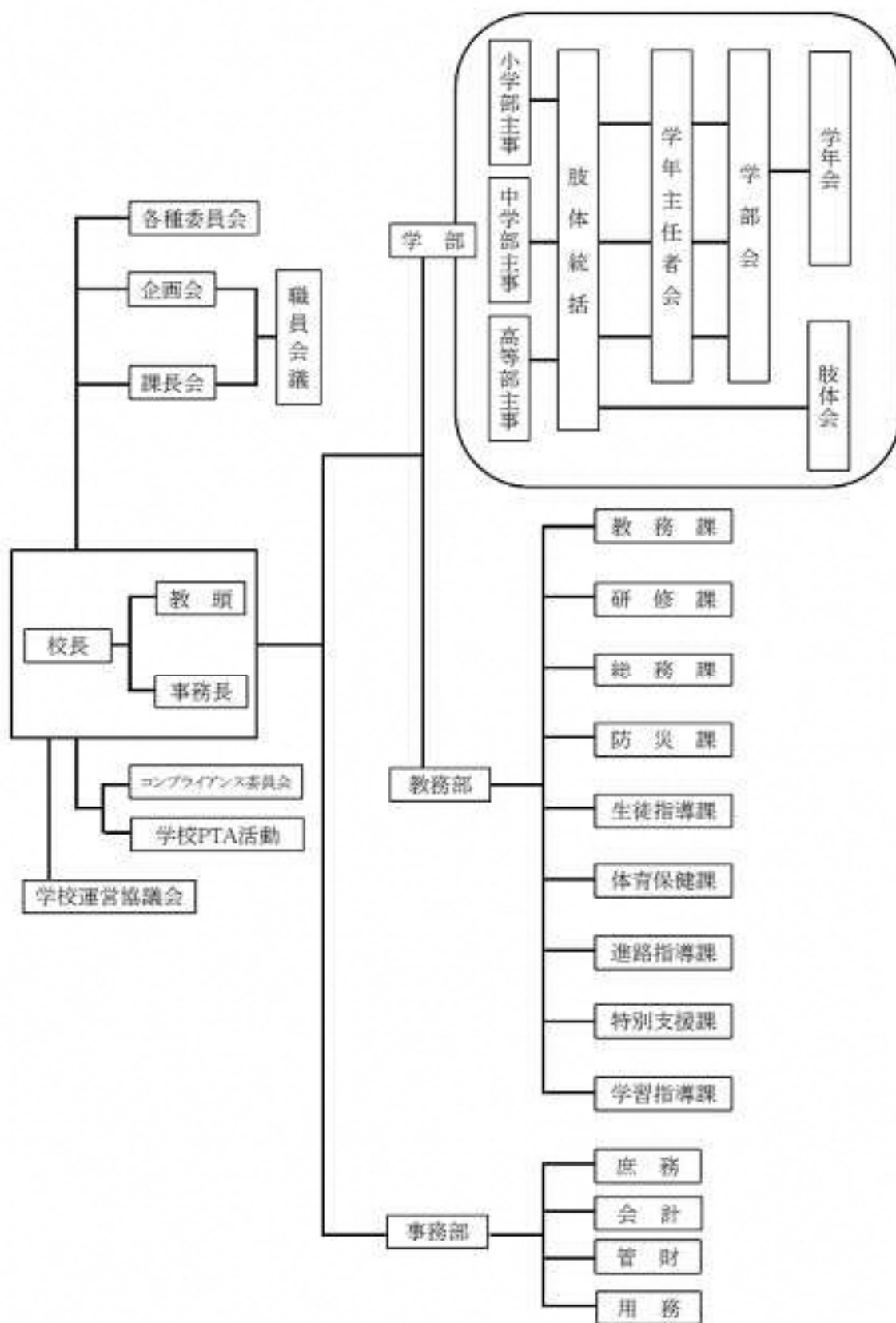
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

- 昭和53年2月25日 湖西市、新居町、舞阪町、雄踏町、可美村の浜名地区5市町村により
静岡県浜名養護学校組合準備委員会を結成
- 昭和53年10月30日 組合立浜名養護学校設置許可
- 昭和54年3月27日 校舎竣工検査（RC 2F 2,299㎡）
- 昭和54年4月1日 静岡県浜名養護学校組合立浜名養護学校開校
- 平成7年5月10日 県立移管準備委員会並びに幹事会発足
- 平成8年4月24日 県立移管準備打ち合わせ会発足
- 平成8年10月15日 県立移管検討委員会発足
- 平成8年10月22日 覚書交換式（浜松名鉄ホテル）
- 平成8年11月22日 組合立浜名養護学校廃止認可
- 平成8年12月17日 設置条例案、県議会において決議、名称が静岡県立浜名養護学校に決定
公布日 平成8年12月25日、施行日 平成9年4月1日
- 平成8年12月20日 静岡県立養護学校学則の一部改正、定例教育委員会において決議
施行日 平成9年4月1日
- 平成9年3月7日 浜名養護学校県立移管概要全体説明会
- 平成9年4月1日 静岡県立浜名養護学校開校
- 平成9年5月7日 開校式挙行（小学部25人・中学部18人 計43人）
- 平成11年4月1日 高等部開設
- 平成14年3月25日 増築校舎竣工（SRC 5F 3,523㎡）
- 平成18年2月28日 小学部教室棟耐震補強工事竣工
- 平成18年11月16日 学校歯科保健優良学校受賞
- 平成20年4月1日 静岡県立学校設置条例の一部改正により、名称を静岡県立浜名特別支援学校
に変更
- 平成21年4月24日 創立30周年記念式典 新校歌制定
- 平成22年3月23日 湖西市、新居町の配置分合により、住所が湖西市新居町浜名に変更
- 平成25年1月15日 学校給食優良学校受賞
- 平成27年10月1日 学校環境衛生優良学校受賞
- 令和元年11月30日 創立40周年記念式典

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) 教育目標 「豊かな社会生活を実現できる浜名の子」

合言葉：【 笑顔 仲間 地域 】 スローガン：【 幸せを運ぶはまな 】

(2) 目標具現化の柱

ア【 笑顔 】

子どもたちも教職員もおだやかにのびのびと笑顔で過ごすことができる環境づくり

イ【 仲間 】

恵まれた教育環境を生かし、仲間と関わりながら自ら考え行動できる活動づくり

ウ【 地域 】

地域社会とつながり、共生社会の実現に向けてともに歩むことのできる関係づくり

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【笑顔】環境づくり 安全で安心な学校生活	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が自分の命を守るために適切な判断をし、行動できる指導や支援ができています。 職員が校内や校外での発災時に取るべき行動を具体的に想定できています。 	<ul style="list-style-type: none"> <防災課> 避難訓練をとおして「児童生徒が自分で考えて避難行動をとることができた。」と答える教員 91% 職員研修において土砂災害について研修を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 緊急地震速報を聞くと迅速に一次避難することができた。地震だけでなく火災報知器の音についても聞き分けられるようにし、火災発生時の初動についても確実にいえるようにしていきたい。 今まで意識していなかった部分に焦点を当て、確実な避難行動を行えるようにしていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が自らの健康を意識し、維持増進に向けた取組を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> <体育保健課> 保健の学習では、各学部グループの実態に応じた内容を扱った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとに学習する内容を決めたことにより、必要な指導をすることができた。 既習内容を教員間で情報共有し、日常生活において生徒の健康を意識した行動への指導支援にもつながった。
	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の医療的ケアが安全に実施できています。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアを行うときは声出し確認をしながら行い、周りの教員も一緒にケアを行う意識をもつことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内の医ケア担当者会や検討委員会を定期的に関き、情報や改善に努めることができた。また、保護者との連携を密にし、教室環境や担当教員の配置も工夫した。
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が、食に関する関心をもったり、知識を身に付けたりすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年、年一回以上栄養教諭による授業を行い、食に関心をもったり、知識を身に付けたりできるようにした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> おすすめ献立の実施時期に合わせて栄養教諭による授業を行うことにより、食育の授業を計画的に実施することができた。食育に関する授業を行うことで、苦手なものを頑張って食べようとする姿が多く見られるようになった。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【笑顔】環境づくり	安全で安心な学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の点検や日頃の巡回により校内で早期対応する環境整備ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> <総務課> ・安全点検簿の期限内回収率100% <事務部> ・安全点検等で報告された異常箇所は予算の範囲内で対応できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・提出を催促する必要はあったが、事務室への修繕依頼は迅速にできた。修繕内容に関する事務室への連絡体制は再度確認が必要。 ・月1回の安全点検の他に、校内を移動するときに施設設備の安全確認をしながら移動する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して授業に参加したり、自らの考えを発信したりできる環境をつくることができている 	<ul style="list-style-type: none"> <生徒指導課> ・人権を尊重した指導支援により、児童生徒が安心して自らの考えを伝える（発信する）ことができる環境を作ることができたと答える教員が87%だった。（数値目標85%） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な人権チェックやアンケート、呼び掛け、ミニ研修などを行うことにより、教員の人権意識を高めることができた。今後は教員同士のコミュニケーションの場を増やし、互いの人権感覚を確かめ合うようにしていきたい。 	
【笑顔】環境づくり	専門的指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の内容や方法について、関係者と共有しながら支援ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> <特別支援課> ・個別面談で、支援内容を保護者と共有することができた。 ・30%の保護者が医療や福祉の関係機関との情報共有に活用していた。 <自立活動課> ・外部専門家やリハビリ見学などを通して、指導支援の方向性について整理し、自立活動の指導に生かしていくことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に対して、個別の教育支援計画・指導計画について情報共有のためのツールであることを周知する必要がある。 ・自立活動の指導や成果が他機関でも生かされるように保護者や各関係機関との情報を共有できるようにしていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の指導計画」が授業の計画時や振り返り時に活用され、授業改善に役立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> <教務課> ・個別の指導計画を授業計画時や振り返り時に活用できたと答えた教員98% ・学部会でミニ研修を実施し活用を促した。 ・年度当初に自立活動課、教務課、特別支援課合同で説明会を実施した。 <自立活動課> ・自立活動の視点を持ち、実態把握を下にした個別の指導計画の目標設定や指導の充実について学習会等で投げ掛けを行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の計画時に、個別の目標を共有するなど、意識的に活用することが増えた。 ・引き続き、学部会等で個別の目標や支援を見直す時間を定期的に設ける。 ・特別支援課、自立活動課と連携して、作成の意義、記入の仕方、作成テンポについて、説明会や掲示板等で分かりやすく伝える。 ・チェックシートなどを用いて個々の実態把握を行い、目標設定を行うことができた。各学部・学年で実態把握や指導について検討する時間を持ち、実践例などについても情報共有を図っていく 	

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【笑顔】環境づくり	専門的指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の指導力が向上してきていると実感できている。 	<p>< 研修課 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・できた、少しできたと答えた職員 100% <p>< 管理職 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次研修の報告を読み感想や意見を伝えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間での情報共有により、新しい視点を生かした指導や指導内容を整理することができた。 ・児童生徒の実態、視点に着目し、評価の方法が幅広くなった授業が増えた。研修の窓口になっている授業だけでなく、授業全体に生かしていきたい。 ・初任者に対しては出張報告時に、学ぶポイントや学んだことを対話することができた。その他の年次研修者に対しては、報告書を読み、こちらの感想を伝えたが、対話にまで至らなかった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・自主研修会やOJTチームによって得られた気づきが指導や組織運営に生かされている。 	<p>< 各分掌 ></p> <p>○小学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ研修と夏季学部研修を実施した。 <p>○中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながるタイム、授業チャットやグループ会による狙いの明確化や支援の工夫をした。 <p>○高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回の学部ミニ研修を行った。 <p>< 管理職 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った話し合いを学年会で行い、学年組織の同僚性を高めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学部のミニ研修が基本的なことを再確認する場となり有意義だった。次年度も継続していく。 ・話し合いの時間が設定されていることで、様々な情報を共有することができた。設定された時間以外でも自然と話し合えるようにしたい。 ・人権を意識して生徒と関わることができた。情報交換の場としての時間を設定していきたい。 ・学年内での他者理解が進んだと答える学年主任が半数以上いた。今後も継続していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で雑相（雑談と相談）できる時間が増えている。 ・不祥事案件の発生件数0。 	<p>< 全教職員 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間での雑相タイムにより他者理解が進むきっかけとすることができた教職員 91% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・雑相できる雰囲気をお大切だと感じている教員が多く、設定した時間外でも雑談するように心がけているとのこと。反面、設定された時間だけでは不十分であると答える職員もいた。

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【仲間】活動づくり 主体性を発揮できる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒がワクワク（期待感と意欲）する姿と夢中に取り組む姿を実現する授業ができてい 	<p><各学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学部 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉掛けに着目し、自ら考えて活動する姿につながる授業づくりに取り組んだ。 ○中学部 <ul style="list-style-type: none"> ・解決したい課題や問いを明確にしたうえで授業づくりを行い、生徒の思考を踏まえた目標設定、活動設定を行うことができた。 ○高等部 <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりシートを作成し、生徒の実態や重点目標を共有した上で、解決したい課題や問いを設定することができた。 <p><研修課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い学びを実感する授業づくりができたと答えた職員 98% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、授業改善に取り組むことができた。具体的で評価しやすい目標、評価規準の設定をしていきたい。 ・生徒にとってわかりやすい活動内容の設定や展開の工夫により、生徒が見通しをもって意欲的に取り組む姿が見られた。今後も根拠ある目標設定を行うとともに、学びの過程を想定した具体的で段階的な指導を行っていきたい。 ・あられや課題点を共通理解し、学びの過程や手立てについて授業改善することができた。今後は単元と単元とのつながりを意識した段階的な指導や目標設定をしていきたい。 ・どのグループも日々授業改善を行い、児童生徒の実態や思考、意欲を意識した授業づくりをすることができていた。 ・実態や学びの過程を見取る力を高めることで、授業の質を上げ、児童生徒が学びを実感できる授業づくりを行っていききたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解、自己選択、自己決定を促す機会を作り、将来の社会生活を自分事として捉えることのできる学習ができてい 	<p><各学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学部 <ul style="list-style-type: none"> ・自己選択、自己決定の場面を多く設定することができた。 ○中学部 <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの際、キャリア教育のおさえを確認しながら授業の展開を検討し、自己決定・自己選択など、の機会を確実に設けるようにした。 ○高等部 <ul style="list-style-type: none"> ・職業の学習サイクルを意識した授業づくりをすることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・選択するためには、選択肢自体が分かる学習にも丁寧に取り組みたい。 ・やりたい活動や教材を自分で選んだり、活動の仕方を生徒自ら考えたりする姿が見られた。キャリア教育のおさえを定期的に見直し、中学部段階で身に付けたい力を共通理解して取り組んでいきたい。 ・職場実習での評価や課題から、日々の目標を立てることができた。具体的な目標設定をしていきたい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【仲間】活動づくり			<p><進路指導課></p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育のおさえを活用して将来の姿を意識して授業づくりをすることができたと答える教員 80%以上。 		<ul style="list-style-type: none"> 将来までは見通せないが、今後の姿をイメージして授業を考えることができた。自立グループのキャリア教育に関してはR5年度からスタートする予定。
	関わり合いが生まれる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 本に親しむ機会の確保や働き掛けをとおして、児童生徒の興味関心や関わり合いが広がっている。 	<p><教務課></p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会 4回ほか日常的な取組(小) おはなし会 2回、本の時間 6回ほか日常的な取組(中) 毎月1回 LHRを図書的时间として学年ごと読書活動を実施(高) 児童生徒の実態に応じた読書活動により、本への興味関心や関わり合いが広がったと答える教員 94% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 各学部の実態に応じて、おはなし会や本の時間、LHRなどで本に親しむ機会を設けることで、児童生徒の興味関心や関わり合いの広がりが見られた。 読書週間や図書委員会の活動などを通して、継続的に本に親しめる機会を設けていく。 外部団体によるおはなし会は来年度も継続実施する。
	関わり合いが生まれる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の環境を生かした活動をとおして、児童生徒の発想や表現を引き出すことができています。 	<p><各学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学部 <ul style="list-style-type: none"> 学校内の人や物、周辺の場所や自然を活用した学習に取り組むことができた。 ○中学部 <ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招いたダンス及びリズム運動の授業を設定することにより、表現活動を充実させることができた。 ○高等部 <ul style="list-style-type: none"> 多様な人材を活用し、自分の気持ちを発信する授業づくりをすることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 校外でのびのびと学習する中で児童同士の関わり合いが広がり、深めることができた。 生徒の実態に合った動きや振りにより、生徒たちが意欲的にダンスに取り組む姿が見られた。自信をもって大きな振りで踊ることができた。 音楽療法やリトミックを通して、音楽に親しみ、感情や気持ちを表出することができた。
	関わり合いが生まれる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の考えを発信したり、受け止めたりする学習ができています。 	<p><教務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用して自分の考えを発信したり、様々な情報を受け止めたりする学習ができたと答える教員 88% 情報に関する職員研修 6回、掲示板での情報発信 5回実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用の機会が増加した。今後も環境整備を進め、段階的に実践研修等に取り組んでいく。 今年度 Google 一人1アカウントを取り入れたことで、活用の幅は広がっていくと思われる。今後は生徒用の Google アカウント取得にも取り組んでいく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
【仲間】活動づくり	関わり合いが生まれる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を見合うことをとおして互いを理解し合うことができています。 ・行事において、児童生徒同士の関わり合いの場を作り出すことができています。 	<p><各学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学部 <ul style="list-style-type: none"> ・集会、総練習、学部ダンス等で縦のつながりをもつことができた。 ○中学部 <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害グループの教員が肢体グループの授業に入る機会や学部集会など合同で実施する機会を定期的に設けた。 ○高等部 <ul style="list-style-type: none"> ・職業グループと自立グループの自然な関わり合いが持てる機会を設定した。 <p><運動会/海風祭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会では見合う会や他学部参観の日を設定し、他学部の運動会の活動を見ることができた日を設定した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を見合い、共にすることで他の場面でも声を掛け合うなど関わりが広がった。 ・双方の教員が互いの生徒の実態や目標などを理解し、学習内容を建設的に話し合うことができた。 ・職員の給食交流や、生徒の配布物係など関わり合いを持つことができた。 ・授業時間内での見合う会に参加している教員はとて少なかったため、開催時間や見学対象者の絞り込みなどの工夫が必要。その中でも昼休みに行ったダンスや応援を見合う会はとても良かった。 ・万国旗については、高等部の生徒会から中学部の生徒会へ依頼をする場面があり、関わり合いの場を設定することができた。
【地域】関係づくり	地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流が生まれ、地域資源を活用した学習活動を実施できている。 ・家庭や地域への分かりやすい情報発信ができています。 	<p><各学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学部 <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の散策、お礼の手紙を渡すなど、地域と関わる活動に取り組めた。 ○中学部 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と共同での奉仕作業を実施した。 ○高等部 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した学習活動を増やし、学びを深めることができた。 <p><教務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページから学校や児童生徒の様子がよく伝わったと答える保護者 96% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校外ならではの学びがあった。さらに地域との関わりが広がられると良い。 ・地域の方と会話を楽しみながら共に活動することにより、交流を深めることができた。継続して実施していきたい。 ・作業学習では、地域と連携して販売や協働作業をすることができた。今後も継続して実施したい。 ・定期的なホームページの更新。(月1回以上) ・保護者に対して、コクーでのお知らせメール配信を開始し、正確で迅速な情報発信を行った。 ・地域への情報発信の充実に向けて、ホームページや他の方法について検討する。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	【地域】関係づくり 地域とつながる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交流籍を活用した交流や学校間交流が互いの児童生徒にとって、自分を表現できる活動内容になっている。 ・地域の幼・保園や小・中・高校からの依頼を受けて、必要なサポートをすることができている。 	<p>< 特別支援教育課 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の状況に対応した活動内容の基準を明確にした。 ・活動内容の実践例を情報提供した。 ・高等学校にコーディネーターが訪問し、ニーズの把握とともに関係性を周知した。 ・幼保園には定期的に訪問した。小学校からは就学に関してや、児童の支援の具体的なサポートや保護者からの相談にも対応した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交流校に出かけることにより、その子なりの主体的な関わりを引き出すことができた。交流を有効なものにするため、事前に自己紹介カードを送り合うなど間接的な交流も合わせて実施することが必要である。 ・高等学校からの相談件数が増え、地域の高等学校との関係構築ができた。特別支援教育のセンター的機能を果たすために構築された関係を維持していく必要がある。

(2) 令和5年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【笑顔】環境づくり	安全で安心な学校生活	・緊急時や災害時に備えた現実的な避難訓練の実施と行動の整理	・児童生徒が自分の命を守るために場に応じた判断をし、行動できる事前事後指導や支援ができている。	防災課
		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組む保健指導（性教育含む）と体力向上の指導 ・栄養教諭と連携した食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自ら健康の保持増進に向けた取り組みを行っている。 ・児童生徒が食に関する知識や関心を身に付けることができている。 	体育保健課
		・医療的ケアに関する研修の充実とヒヤリハットの情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の医療的ケアが教師間の連携を深めて安全に実施できている。 ・軽微な異常を認識し、報告することができている。 	体育保健課
		・安全な学校生活の視点からの校舎内外の安全点検と整備	・事務部との情報共有により校内で早期に対応する環境整備ができている。	総務課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の人権を大切にした支援と指導 ・人権研修の計画的な実施 	・教師が手本となり、安心して授業に参加したり、自らの考えを発信したりできる環境が整っている。	生徒指導課

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【笑顔】環境づくり	専門的指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「個別の教育支援計画」を活用した支援体制づくりと自立活動の視点に立った運用 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の内容や方法について関係機関と共有しながら支援ができています。 児童生徒や保護者の願いや気持ちを受け止め、寄り添う支援ができています。 	特別支援課 学習指導課
		<ul style="list-style-type: none"> PDCA サイクルを意識した「個別の指導計画」の作成と日々の授業づくりへの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「個別の指導計画」が授業の計画時や振り返り時に活用され、日常的な授業改善につなげている 	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> テーマ研究や年次研を活用した指導力向上研修と授業を見合う会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一授業研を実施することにより、主体的に授業改善に取り組み、授業力が向上したと実感できる。 	研修課 各学部
	働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教職員がやりがいをもって取り組める OJT による相互の学び合い 教職員の強みや得意分野を生かした役割分担 学部や分掌内での協力体制づくり 業務改善の推進と不祥事根絶研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会によって得られた気づきを普段の授業や組織運営に生かすことができています。 お互いに協力し、助け合って仕事をするによりチーム力が向上している。 不祥事案件 0 	全教職員 管理職
【仲間】活動づくり	主体性を発揮できる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の視点に立ち、学びの過程を想定することによる学びを実感できる授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がワクワク（期待感と意欲）する姿と主体的に取り組む姿を実現する授業ができています。 	研修課
		<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育のおさえを活用し、キャリア発達に応じた授業計画と指導の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の社会生活に必要な支援を充実させ、生活年に合った学習ができています。 	進路指導課
		<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の適切な取扱と ICT 活用授業の充実 ICT 活用の授業実践の研修や実践事例の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が情報機器を使用し、児童生徒の主体性を引き出した学習活動ができています。 	学習指導課
	関わり合いが生まれる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 読書環境の整備と学部方針に沿った読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生活年齢に合わせた読書指導をとおして、児童生徒の興味関心や関わり合いが広がっている。 	学習指導課 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> 知肢連携と異年齢交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動において児童生徒同士の関わり合いの場を作り出し、互いを理解することができています。 	各学部 運動会 海風祭

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【地域】関係づくり	地域とつながる活動の推進	・地域や学校運営協議会と連携した教育活動の拡大	・地域住民との交流が生まれ、地域資源を活用した学習活動ができています。	各学部
		・コクーや学校ホームページの発信内容の充実 ・本校教育活動の計画的な発信	・家庭や地域への分かりやすい情報発信ができています。 ・校外作品展やホームページ上の作品展、学校だより等で本校の学習活動の様子を発信ができています。	学習指導課 総務課
		・交流籍交流及び学校間交流の充実 ・センター的機能を発揮した就学前、小中高との連携と支援の充実	・児童生徒が自らを表現できる活動内容になっている。 ・地域の幼保園や小中高からの依頼に対して必要なサポートをすることができています。	特別支援課

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和4年度	○教諭と栄養教諭の連携を生かした食育の推進	<体育保健課> ・11月を食育月間とし、食育をテーマとした保健学習を全学年2回ずつ行った際、栄養教諭から指導を受け、食についての学習を深めることができた。 ・食に関する授業を定期的に取り入れることにより、苦手な野菜を自ら食べようとする児童生徒の姿が多く見られるようになった。
	○業務改善の推進と不祥事根絶研修の実施	<全教職員> ・業務削減を図るため、学部や分掌の業務を見直すことを定期的に提案し続けた。しかし、大きな変化はなく、次年度の計画もほぼ前例踏襲だった。 ・不祥事根絶研修を2か月に1回の学年会の中でテーマに沿って話し合うことにより、多様な価値観の理解と同僚性及び抑止力を高めることへとつながられた。
	○「キャリア教育のおさえ」を活用した授業計画と支援・指導	<進路指導課> ・将来の姿から今後の姿を段階的にイメージして授業計画を立案することができた。 ・自立グループのキャリア教育のおさを2学期末に試行し、3学期は改善をしていく。
	○読書環境の整備と本に親しむ指導の充実	<教務課> ・児童生徒の実態に応じて、おはなし会や本の時間、LHRなどの本に親しむ機会を設けることにより、児童生徒の興味関心や関わり合いの広がりが見られた。
	○学びの場の連続性を意識した特別支援教育連携	<特別支援課> ・高等学校に対して本校が機能する内容を整理することにより、センター的機能を果たせるように高等学校への働きかけを継続する。

年度	取 組 概 要	成果及び課題
令和 5 年度	<p>○緊急時や災害時に備えた現実的な訓練の実施と行動の整理</p> <p>○テーマ研究や年次研を活用した指導力向上研修と授業を見合う会の実施</p> <p>○教師がやりがいをもって取り組めるOJTによる相互の学び合い</p> <p>○情報機器の適切な取扱いとICT活用授業の充実</p> <p>○交流籍交流及び学校間交流の充実</p>	<p><防災課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から取り入れた土砂災害時の避難行動の中に、1次避難から2次避難へ移行する際に周囲の状況確認の手順を加えた。さらに大雨による土砂災害だけではなく、地震発生時にも土砂災害が起きることを想定し、避難経路の見直しをしている。 ・避難したあとの過ごし方について考えていく必要性を確認した。 <p><研修課・各学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は指導カードを基にした一人一授業を実施し、参観したメンターから助言をもらう手軽な研修方式を取り入れた。このことにより、以前よりも授業について話し合う機会が増え、T1の授業目標をサブの教員が深く理解することへとつながった。 <p><全教職員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘し、子どもの『学びの過程』に着目した少人数グループによる対話型学習会を開催した。共通の動画を視聴したあと、児童生徒の行動について各人の解釈を述べ合い、一つの行動に対して多種多様な教師の解釈があることを具体的に知る機会となった。児童生徒の行動観察は教員の基礎的な能力であるため、学校全体で取り組み、個人及び組織のスキルアップへとつなげた。 <p><学習指導課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は学部ごとに実施した情報セキュリティ研修を本年度は4月の職員会議で一斉に伝達することができた。このことにより各人の認識のばらつきは最小限に抑えられる。小中学生のiPadの使用率が昨年よりも高くなっていることが貸出簿よりうかがえる。児童生徒がICT機器を積極的に使用することにより、今まで以上に児童生徒の主体性が発揮される授業場面が増えてきている。 <p><特別支援課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学部の学校間交流では事前打合せにて伝えた要望をできる範囲でかなえてくれたため、本校の生徒はもちろんのこと準備をしてくれた交流校の生徒も達成感を味わうことができた。今後は1年に1回の直接交流を2回に増やしていけるとさらに良い。 ・交流籍交流は夏季休業に入ると同時に交流籍校へ出掛け、綿密に打ち合わせをした。交流内容は受け入れ校の状況に大きく左右されるが、できるだけ本校の児童生徒が主体的に活動できるような計画を依頼した。

5 教職員について

(1) 令和4年度異動状況

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員						合計				
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任期付)	教諭(臨時)	養護教諭(臨時)	非常勤講師(看護)	非常勤講師		非常勤労務職員	臨時計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主任	主事										小計	
転出者				9			9		1			1	10	2							2	12
退職者				4			4						4	1	4		1	1	2		9	13
転入者	1			8			9		1			1	10									10
新任者				2			2						2		2	1		1	3		7	9
差引増減	1			3			2		0			0	2	3	2	1	1	0	1		4	6

(2) 現員数

(令和5年7月31日現在)

区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員								合計		
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任期付)	教諭(臨時)	養護教諭(臨時)	医療的ケア看護職員	非常勤講師	非常勤労務職員	校医、薬剤師		健康管理医	臨時計
	校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主任	主事	小計											
男		1	21			22		1	1		2	24	1					4	5	1	11	35
女	2		42	2	1	47	1			1	2	49	3	4	1	1	1	5	1		16	65
計	2	1	63	2	1	69	1	1	1	1	4	73	3	5	1	1	1	9	6	1	27	100

(3) 健康管理について

ア 健康管理の推進

定期健康診断の全員受診を推進し、疾病の早期発見に努める。

精密検査や治療等の事後措置を徹底させ、各自の健康管理を促す。

職員安全衛生委員会を毎月実施し、健康管理医の指導助言を受けながら、安全衛生の向上を図る。

腰痛検診を全職員が受講し、各自に適した腰痛予防推進に努める。

イ 健康診断の実施項目

(令和5年7月31日現在)

項目	対象者	対象者数	受診者数
結核検診	全職員(指定年齢検診・人間ドック受診者及び特別休暇中の職員は除く)	42人	37人
生活習慣病予防検診		42人	40人
指定年齢検診	40・45・50・55・59歳	3人	0人
人間ドック	35・38・41～44・46～49・51～54・56～58・60歳以上の希望者	28人	3人
婦人科検診	20歳以上偶数年齢(指定年齢検診・人間ドック受診者は除く)	17人	1人

(4) 教職員の研修について

目的	取組内容	成果と課題
ア 研修課による校内研修	<p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究のテーマ1年目である。昨年度までの成果や課題を踏まえ、学校教育目標や新学習指導要領に示された改訂のポイントを視点を、児童生徒主体の授業づくりを目指し、児童生徒の視点に立った目標設定や評価をすることにより、児童生徒がより深い学びを実感できる授業の事例を集め、検証していく。 ○4グループで研究を進め、外部助言者を招聘する授業研究を各々年1回から2回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の視点に立ち、児童生徒と目標を共有したり児童生徒の実態に合った課題設定を行ったりすることにより、児童生徒の主体的に学習に取り組む姿や何ができたのかを振り返る姿を引き出すことができた。教員主導ではなく、児童生徒主体の授業づくりを意識することができた。学習過程の見取り方に注目し、改善していく。
学校教育目標の具現化に向けて、魅力ある授業づくりと指導力向上を目指す。	<p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究のメインテーマは継続2年目となる。昨年度までの成果や課題を踏まえ、児童生徒のあられから学びの過程を見取り、学習過程の質的改善を行うことにより、児童生徒がより深い学びを実感できる授業の事例を集め、検証していく。 ○4グループで研究を進め、外部助言者を招聘する授業研究を各々年1回から2回実施する。 ○外部講師より、児童生徒の学びの見取り方を学び、児童生徒の学びの過程に合った授業改善を行うことにより、児童生徒が学びを実感できる授業につなげる。また、教員間で連携して授業改善することにより、教員の資質向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に外部講師を招聘し児童生徒の学びの見取り方を学んだ。児童生徒のあられを基に、事実と解釈に分けて、意見を出し合い、教員間で解釈を共有し合う研修を行ったことにより、児童生徒の学びの過程に注目した話し合いを経験することができた。児童生徒の学びの過程に合った授業改善を行うために、教員間の意見交換を大切にしたい見取りを行い、2学期以降の授業づくりに生かしていく。

目 的	取組内容	成果と課題
イ 外部講師を招聘した講演会・学習会の開催	令和4年度 【生徒指導課】 ○8月4日「人権研修」 講師：静岡県人権啓発センター 橋本美幸氏 【自立活動課】 ○10月25日 第2回指導法研修会 令和5年1月25日 第3回指導法研修会 講師：静岡大学 香野 毅氏	【生徒指導課】 ・元小学校長の学校現場に潜む危険性や教員の職業特性を踏まえた上での人権尊重に関する話は納得できるものが多かった。今後の学校生活で注意すべき点を整理することができた。 【自立活動課】 ・いつもながら学校や教師という規制枠を超えたアドバイスに新しい価値観を見出すことができた。これをヒントに新たな指導法を練り上げていくことができた。
教員の資質や専門性の向上を図る。	令和5年度 【体育保健課】 ○5月11日18日「心肺蘇生法講習」 講師：湖西市消防署員 【学習指導課】 ○6月14日 第1回指導法研修会 講師：静岡大学 香野 毅氏	【体育保健課】 ・高等部職員と小中学部職員とに分かれ、傷病者発見から心臓マッサージ、AEDの使用までの流れを様々な状況を設定しながら訓練した。少人数のため、実際の訓練をすることができた。 【学習指導課】 ・小学部3人、中学部2人の事例児を抽出し、授業参観後にアドバイスをいただき、今後の指導への参考となった。
ウ 分掌課主催の研修 職員の希望やニーズを踏まえ、教員の専門性や資質の向上を図る。	令和4年度 【防災課】 ○8月2日「防災研修」 講師：西部地域局 静岡県浜松土木事務所 【自立活動課】 ○8月2日「自立活動研修」 講師：コミュニケーションセンター ふくふく代表 鈴木紀子氏 【体育保健課】 ○8月3日「接食研修」 講師：浜松医療センター 歯科口腔外科部長 配島桂子氏	【防災課】 ・PTA役員を招き、キキクルなどの情報の有効活用について学習した。本校は土砂災害警戒区域に指定されているため、情報収集は必須である。 【自立活動課】 ・太田ステージを基に認知発達段階の講義を受けた。ステージごとの特徴を児童生徒に重ねての話が大変分かりやすかった。 【体育保健課】 ・「噛む」ことをテーマとした摂食の基本知識の講義を受けた。食物がのどを通るところを映したX線の動画は新鮮だった。

目 的	取組内容		成果と課題
ウ 分掌課主 催の研修 職員の希 望やニー ズを踏ま え、教員 の専門性 や資質の 向上を図 る。	令和 4年 度	【教務課】 ○8月4日「ICT研修」(希望研修) 【進路指導課】 ○8月5日「進路研修」(教職経験3年以下及び研修希望者)	【教務課】 ・モニターテレビの使用、スクリーンへの投影など今さら聞けないことの再確認に努めた。 【進路指導課】 ・社員の7割が知的障害者の日本理化学工業の動画を視聴したあと、少人数グループに分かれて意見交換をした。Win-Winの関係性からほとんどの職員が企業経営の理想と感じていた。
	令和 5年 度	【防災課】 ○4月5日「職員避難訓練」 【生徒指導課】 ○4月7日「職員緊急搜索訓練」	【防災課】 ・新年度開始前に、主な活動場所から二次避難場所までの経路を実際に移動し、発災時の動線を確認した。あわせて人員点呼の方法、連絡手順の確認もした。 【生徒指導課】 ・第1次搜索から第3次搜索までの各職員の役割と連絡体制を訓練した。本校周辺は見通しの悪い農道や防砂林があるため、実地訓練は欠かせない。

6 防災対策について

災害・非常時に備えて定期的に避難訓練を行い、安全について理解し、適切な行動がとれるように指導する。また、避難後の避難所生活を考慮した避難後訓練の実施も検討していく。

本校の防災体制及び災害発生時の対応について、防災計画書や危機管理マニュアルを見直し、教職員間で共通理解を図り、その対応に万全を期す。

地震や火災、土砂災害発生時、下校時に地震が発生した場合の避難訓練を行う。

<地震・防災訓練等実施状況>

年度	期 日	内 容	対象者
令和 4年 度	8月6日	職員防災研修 外部講師による土砂災害についての講話 グループワーク(防災備品、設備の確認)	全教職員
	9月2日	在校時に南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発令された場合を想定した引き渡し訓練 防災学習、起震車体験、非常食体験、保護者への連絡方法の確認	児童生徒 教職員 保護者
	10月	地震を想定した避難訓練(抜き打ち)	児童生徒 教職員
	11月30日	下校時避難訓練(スクールバス引き渡し訓練)	児童生徒 教職員 保護者

年度	期 日	内 容	対象者
令和5年度	4月18日	南海トラフ地震を想定した避難訓練	児童生徒 教職員
	5月1日	静岡県地理情報システムにより土砂災害警報基準を超えた場合を想定	児童生徒 教職員
	5月22日	火災を想定した避難訓練（新校舎1階厨房から出火） 消防署員立ち合い	児童生徒 教職員
	7月10日	避難訓練（震度5以上）、安否確認メール訓練	児童生徒 教職員 保護者

7 学校開放について
令和4年度

施設名	利用日数	利用人員	利用目的	利用者負担金 (電気料)
プレイルーム	8日	135人	楽器演奏練習、障害者の生活訓練	687円

令和5年度

(令和5年7月31日現在)

施設名	利用日数	利用人員	利用目的	利用者負担金 (電気料)
プレイルーム	6日	99人	楽器演奏練習、障害者の生活訓練	558円
体育館	2日	21人	障害者・高齢者のスポーツ、陸上競技練習	428円
グラウンド	1日	18人	障害者の陸上競技練習	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条、第6条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、 第77条、第82条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱

学校施設の概要

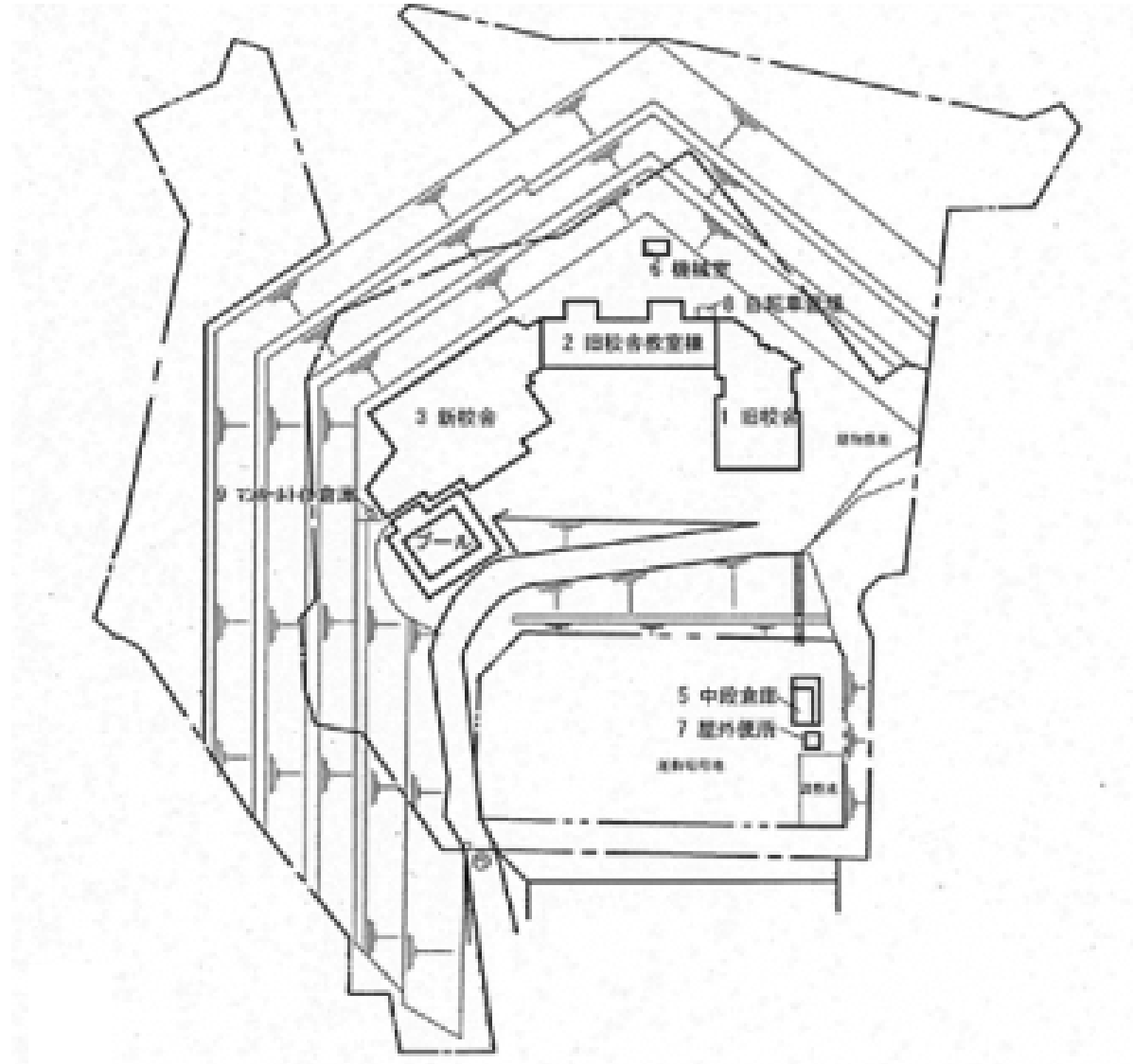
1 面積及び所有区分

(令和5年7月31日現在)

区分	面積 m ²	所有内訳					摘要
		県有 m ²	国有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民有 m ²	
学校敷地	23,750.06			12,276.88		11,473.18	浜名学園組合借地 〔 12,276.88 11,473.18
内訳	校舎敷地	3,859.03		3,859.03			
	運動場敷地	2,486.12		2,486.12			
	その他の敷地	17,404.91		5,931.73		11,473.18	
校舎	建 1,710.35	建 1,710.35					
	延 4,995.03	延 4,995.03					
その他の建物	建 117.20	建 117.20					
	延 117.20	延 117.20					
プール	50.00	50.00					10m × 5m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	7,024.23 m ²	4,995.03 m ²	2,486.12 m ²
県平均	18,814.78 m ²	6,914.52 m ²	5,244.39 m ²

在 籍 生 徒 調

(令 和 5 年 7 月 31 日 現 在)

学年	学科別	小学部			中学部			高等部			
	区分	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者	11	2	13	5		5	18	10	5	15
	增加										
	減少										
	現在	11	2	13	5		5		10	5	15
2年	入学者	5	4	9	6	2	8	33	15	7	22
	增加										
	減少										
	2年次当初	5	4	9	6	2	8		15	7	22
	增加										
	減少										
現在	5	4	9	6	2	8		15	7	22	
3年	入学者	11	1	12	6	3	9	27	7	10	17
	增加										
	減少										
	2年次当初	11	1	12	6	3	9		7	10	17
	增加										
	減少	1		1	1		1		1	1	2
	3年次当初	10	1	11	5	3	8		6	9	15
	增加										
減少											
現在	10	1	11	5	3	8		6	9	15	
4年	入学者	4		4							
	增加										
	減少										
	2年次当初	4		4							
	增加										
	減少										
	3年次当初	4		4							
	增加	1		1							
	減少										
	4年次当初	5		5							
增加											
減少											
現在	5		5								

学年	学科別 区分	小学部			中学部			高等部			
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
5年	入学者	3	3	6							
	増加										
		減少									
	2年次当初		3	3							
	増加										
		減少									
	3年次当初		3	3							
	増加										
		減少									
	4年次当初		3	3							
	増加	1		1							
		減少									
	5年次当初		4	3							
	増加										
		減少									
現在	4		3	7							
6年	入学者	4	1	5							
	増加										
		減少									
	2年次当初		4	1	5						
	増加	1		1							
		減少	1		1						
	3年次当初		4	1	5						
	増加										
		減少	1		1						
	4年次当初		3	1	4						
	増加	2		2							
		減少									
	5年次当初		5	1	6						
	増加										
		減少									
6年次当初	5		1	6							
増加											
	減少										
現在		5	1	6							
合計		40	11	51	16	5	21		31	21	52

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		33	27	27	33	18
募集者数 (B)		33	27	27	33	18
志願者数	男	14(0)	10(0)	7(0)	15(0)	10(0)
	女	7(0)	7(0)	10(0)	7(0)	5(0)
	計(C)	21(0)	17(0)	17(0)	22(0)	15(0)
受検者数	男	14(0)	10(0)	7(0)	15(0)	10(0)
	女	7(0)	7(0)	10(0)	7(0)	5(0)
	計(D)	21(0)	17(0)	17(0)	22(0)	15(0)
合格者数	男	14(0)	10(0)	7(0)	15(0)	10(0)
	女	7(0)	7(0)	10(0)	7(0)	5(0)
	計(E)	21(0)	17(0)	17(0)	22(0)	15(0)
志願倍率 (C)/(B)		0.64	0.63	0.63	0.67	0.83
受検倍率 (D)/(B)		0.64	0.63	0.63	0.67	0.83
入学者数	男	14	10	7	15	10
	女	7	7	10	7	5
	計 (F)	21	17	17	22	15
充足率 (F)/(A)		0.64	0.63	0.63	0.67	0.83

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専 攻 科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		5			5
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職			5		5
上 記 以 外		1	12		13
不 詳 ・ 死 亡					
計 (卒業者総数)		6	17		23

(再掲) 「上記以外」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専 攻 科	
児童福祉施設					
障害者支援施設			12		12
(うち就労系支援事業利用者)		()	(5)	()	(5)
医療機関					
計			12		12

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和5年7月31日現在) (単位:人)

市町名	湖西市	浜松市 (54 43.5%)		合計
		西区	南区	
生徒数	70	53	1	124
構成比%	56.5%	42.7%	0.8%	100%

(2) 通学方法 (令和5年7月31日現在) (単位:人)

区分	スクールバス	交通機関	自転車	自家用車	徒歩	合計
生徒数	67	24	3	25	5	124
構成比%	54.0%	19.4%	2.4%	20.2%	4.0%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和5年7月31日現在) (単位:人)

区分	中 学 部				高 等 部				
	運動部	文化部	未加入者	計	運動部	文化部	未加入者	計	
部(クラブ)数	0	0	/	0	1	1	/	2	
男子	1年	0	0	5	5	3	0	7	10
	2年	0	0	6	6	4	1	10	15
	3年	0	0	5	5	3	1	2	6
	計(A)	0	0	16	16	10	2	19	31
	構成比	0%	0%	100%	100%	32.3%	6.4%	61.3%	100%
女子	1年	0	0	0	0	0	0	5	5
	2年	0	0	2	2	1	2	4	7
	3年	0	0	3	3	1	0	8	9
	計(B)	0	0	5	5	2	2	17	21
	構成比	0%	0%	100%	100%	9.5%	9.5%	81.0%	100%
合計	(A+B)	0	0	21	21	12	4	36	52
構成比		0%	0%	100%	100%	23.1%	7.7%	69.2%	100%

3 障害別児童生徒数

(令和5年7月31日現在)(単位:人)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	
小学部	単一障害	9	7	7	3	3	4	33	8
	重複障害	4	0	2	2	2	0	10	5
	肢体重複	0	2	2	0	2	2	8	4
	合計	13	9	11	5	7	6	51	17
中学部	単一障害	3	7	6				16	4
	重複障害	0	0	0				0	0
	肢体重複	2	1	2				5	2
	合計	5	8	8				21	6
高等部	単一障害	15	20	9				44	6
	重複障害	0	1	1				2	2
	肢体重複	0	1	5				6	3
	合計	15	22	15				52	11

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年7月31日現在)(単位:人)

区分	脳性	染色体	自閉	筋原性	起因不明	その他	計
小学部	3	11	27	0	10	0	51
中学部	1	8	9	0	2	1	21
高等部	7	3	28	0	12	2	52
計	11	22	64	0	24	3	124

特別支援学校における生産物売払調

令和5年度

(令和5年7月31日現在)

		主な生産品目			
本 年 度	<農作物・園芸品> ピーマン、なす				
	売払金額	9,101 円	前年度との差額	70,982 円	
前 年 度	<手芸品・工作物> 小物入れ、ミニ筒飾り、ペン立て、コースター(木)、花瓶、ティッシュボックスケース、コースター、巾着、クリスマスオーナメント、プランターカバー、お花のピンチ				
	<農作物・園芸品> じゃがいも、大根、ナス、ピーマン、さつまいも、ノースポール、キンセンカ				
	<陶芸品> 小皿、ミニ皿3枚セット、中皿、角皿、豆皿、正方形皿、八角形皿、グラタン皿、湯呑、碗、花瓶、植木鉢				
	売払金額	80,083 円	前年度との差額	76,717 円	
前 々 年 度	<手芸品・工作物> ミニ筒、卓上棚、テープカッター、小物入れ、ファイルラック、コースター(木)、ペン立て、巾着袋、コースター、ランチョンマット、クリスマスマスコット、オーナメント				
	<農作物・園芸品> じゃがいも、大根				
	<陶芸品> 小皿セット、ミニ皿5枚セット、ハートの小皿、中皿、大皿、湯呑セット、どんぶり、角皿、花瓶、小鉢、ペン立て				
	売払金額	156,800 円	前年度との差額	36,149 円	

預 金 調

(令和 5 年 7 月 31 日 現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残 高 (円)	摘 要
静岡銀行新居支店	無利息型 普通預金	0350042	静岡県立浜名特別支援学校 資金前渡者校長 村松 尚美	0	給与等振込み用
静岡銀行新居支店	無利息型 普通預金	0477928	(自振口)静岡県立浜名特別支援学 資金前渡者校長 村松 尚美	0	公共料金等引き 落とし用
静岡銀行新居支店	普通預金	0353381	静岡県立浜名特別支援学校 代理受領者校長 村松 尚美	0	児童、生徒就学 奨励費振込み用
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和 5 年 7 月 31 日 現在)

(単位 : 枚、円)

区 分	種 類	令和 4 年度						令和 5 年度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額		数 量	金 額
郵 券	10円券	74	740	150	1,500	169	1,690	55	550	0	0	16	160	39	390	通信連絡 用
	84円券	42	3,528	150	12,600	125	10,500	67	5,628	0	0	23	1,932	44	3,696	
	100円券	59	5,900	30	3,000	53	5,300	36	3,600	0	0	4	400	32	3,200	
	120円券	0	0	80	9,600	25	3,000	55	6,600	0	0	13	1,560	42	5,040	
	320円券	13	4,160	30	9,600	31	9,920	12	3,840	0	0	6	1,920	6	1,920	
計			14,328		36,300		30,410		20,218		0		5,972		14,246	

材 料 品 受 払 調

(令和 5 年 7 月 31 日 現在)

区 分 品 名	令和 4 年度						令和 5 年度						摘 要			
	繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高		
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額		数 量	金 額	
桧 材 (1200×9×9)	0 本	0	90 本	8,820	90 本	8,820	0 本	0	0 本	0	0 本	0	0 本	0	0	
陶芸粘土 (白水ひ)	0 袋	0	4 袋	15,730	4 袋	15,730	0 袋	0	0 袋	0	0 袋	0	0 袋	0	0	
陶芸粘土 (信楽赤土)	0 個	0	1 個	3,190	1 個	3,190	0 個	0	0 個	0	0 個	0	0 個	0	0	
陶芸粘土 (信楽並漉土)	0 個	0	1 個	3,190	1 個	3,190	0 個	0	0 個	0	0 個	0	0 個	0	0	
計		0		30,930		30,930		0		0		0		0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					令和3年度	令和4年度	うち、令和3年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費		円 258,444	
	一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		54,664,480	
	一般	11 教育費	08 学校教育費	04 健康体育費		14,427,903	
計					61,091,482	69,350,827	0
(14) 工事請負費	一般	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費		3,361,600	
計					2,091,936	3,361,600	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		1,131,900	
計					612,700	1,131,900	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		55,500	
計					47,740	55,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、令和4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校 管理費	円 62,087	/
	一般	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理費	10,145,016	
	一般	11 教育費	08 学校教育費	04 健康体育費	3,549,897	
計					13,757,000	0
(14) 工事請負費					0	/
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	/
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理費	0	/
計					0	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理費	48,000	/
計					48,000	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	/
計					0	0

委託料に関する調

(令和4年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス輸送業務委託	遠江観光㈱	円 63,534,504	円 39,454,305	円 9,148,555	円 30,305,750	一般	R2.4.1 ~ R4.7.15	累計金額 R4.6.30 R4.6.30 R4.7.29 R5.1.31 小計	(円) (25,932,115) 1,059,113 1,074,964 1,074,964 1,164,594 4,373,635	生徒送迎バス 運行 N:1台	R2長期 契約解除に伴う変更
2	高等部通学バス輸送業務委託	遠江観光㈱	円 41,739,060	円 23,429,637	円 5,314,329	円 18,115,308	一般	R2.4.1 ~ R4.7.15	累計金額 R4.6.30 R4.7.15 R4.7.29 R5.1.31 小計	(円) (15,490,753) 650,823 660,066 660,066 653,600 2,624,555	生徒送迎バス運行 N:1台	R2長期 契約解除に伴う変更
3	スクールバス運行管理業務委託	大新東㈱ 静岡営業所	円 17,730,373	円 17,226,000	円 42,599	円 17,183,401	一般	R2.4.1 ~ R5.3.31	累計金額 R4.5.31 R4.6.30 R4.7.29 R4.8.31 R4.9.30 R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 R5.2.28 R5.3.31 R5.4.28 小計	(円) (11,441,401) 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 478,500 5,742,000	生徒送迎 スクールバス 運行管理 N:1台	R2長期
4	給食業務委託	㈱ミカサ	円 50,379,678	円 42,328,000	円 0	円 42,328,000	一般	R2.8.3 ~ R5.7.31	累計金額 R4.5.31 R4.6.30 R4.7.29 R4.8.31 R4.9.30 R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 R5.2.28 R5.3.31 R5.4.28 小計	(円) (23,515,536) 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 1,175,779 14,109,348	給食調理・ 配膳	R2長期
5	可燃物収集運搬処理業務委託	環境保全㈱	単価契約 運搬料 1回 2,475円 処分料 1回 13.2円	単価契約 運搬料 1回 1,617円 処分料 1回 13.2円	円 10,461	単価契約 運搬料 1回 1,617円 処分料 1回 13.2円	随契	R4.4.8 ~ R5.3.31	R4.5.31 R4.6.30 R4.7.29 R4.8.31 R4.9.30 R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 R5.2.28 R5.3.31 R5.4.28 小計	31,290 35,970 38,965 33,003 25,345 31,769 33,953 35,524 34,364 30,237 33,410 46,817 410,647	可燃ごみ収集運搬処理 週3回	随契1号(少額) 単価契約 新居高校 湖西高校
6	エレベータ保守点検業務委託	フジテック㈱ 静岡支店	円 768,240	円 768,240	円 0	円 768,240	随契	R4.4.1 ~ R5.3.31	R4.10.31 R5.4.28 小計	398,970 369,270 768,240	エレベータ保守点検 N:1台	随契1号(少額)
7	産業廃棄物(廃プラスチック)収集運搬処分業務委託	㈱星山金属	単価契約 収集運搬料 1回1,650円 処分料 1m ³ 3,300円	単価契約 収集運搬料 1回1,650円 処分料 1m ³ 3,300円	円 0	単価契約 収集運搬料 1回1,650円 処分料 1m ³ 3,300円	随契	R4.4.11 ~ R5.3.31	R4.5.31 R4.6.30 R4.7.29 R4.8.31 R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 R5.2.28 R5.3.31 R5.4.28 小計	7,590 4,620 3,300 4,950 3,960 3,630 4,290 4,620 2,310 3,630 3,300 46,200	産業廃棄物(廃プラスチック)収集運搬処分	随契1号(少額) 単価契約
8	通学臨時バス輸送業務委託	遠江観光㈱	円 3,744,400	円 3,744,400	円 354,200	円 3,390,200	随契	R4.4.1 ~ R4.7.15	R4.5.31 R4.6.30 R4.7.29 R5.1.31 小計	936,100 936,100 936,100 581,900 3,390,200	生徒送迎バス 運行 N:1台	随契2号(不適)
9	高等部通学臨時バス輸送業務委託	遠江観光㈱	円 3,093,200	円 3,093,200	円 292,600	円 2,800,600	随契	R4.4.1 ~ R4.7.15	R4.5.31 R4.6.30 R4.7.29 R5.1.31 小計	773,300 773,300 773,300 480,700 2,800,600	生徒送迎バス 運行 N:1台	随契2号(不適)

委託料に関する調

(令和4年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
10	産業廃棄物(厨房グリストラップ等)収集運搬処分業務委託	㈱大洋サービス	103,400	103,400	0	103,400	随契	R4.6.16 ~ R4.10.14	R4.8.31 小計	103,400	産業廃棄物(厨房グリストラップ廃油等)収集運搬処分	随契1号(少額)
11	1学期末通学バス輸送業務委託	なゆた観光自動車(有)	671,000	671,000	0	671,000	随契	R4.7.19 ~ R4.7.29	R4.8.31 小計	671,000	生徒送迎バス運行 N:1台	随契1号(少額)
12	1学期末高部通学バス輸送業務委託	なゆた観光自動車(有)	456,500	456,500	0	456,500	随契	R4.7.19 ~ R4.7.29	R4.8.31 小計	456,500	生徒送迎バス運行 N:1台	随契1号(少額)
13	1学期末臨時バス輸送業務委託	なゆた観光自動車(有)	341,000	341,000	0	341,000	随契	R4.7.19 ~ R4.7.29	R4.8.31 小計	341,000	生徒送迎バス運行 N:1台	随契1号(少額)
14	1学期末高部通学臨時バス輸送業務委託	ラビット急	223,300	223,300	0	223,300	随契	R4.7.19 ~ R4.7.29	R4.8.31 小計	223,300	生徒送迎バス運行 N:1台	随契1号(少額)
15	産業廃棄物(金属くず)収集運搬処分業務委託	㈱リサイクルルクリーン	29,700	29,700	0	29,700	随契	R4.7.15 ~ R4.9.30	R4.10.31 小計	29,700	産業廃棄物(金属くず等)収集運搬処分	随契1号(少額)
16	産業廃棄物(廃蛍光灯等)収集運搬処分業務委託	㈱ホクセイ	39,402	39,402	0	39,402	随契	R4.7.26 ~ R4.11.30	R4.9.29 小計	39,402	産業廃棄物(廃蛍光灯、廃乾電池等)収集運搬処分	随契1号(少額)
17	一般廃棄物(刈枝、草)収集運搬処理業務委託	環境保全㈱	25,300	25,300	0	25,300	随契	R4.9.1 ~ R4.10.31	R4.11.30 小計	25,300	一般廃棄物(刈枝、草)運搬処理	随契1号(少額)
18	通学バス輸送業務委託(2、3学期)	なゆた観光自動車(有)	17,501,000	13,750,000	0	13,750,000	一般	R4.9.1 ~ R5.3.31	R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 R5.2.28 R5.3.31 R5.4.28 小計	1,964,600 1,964,600 1,964,600 1,964,600 1,964,600 1,962,400 13,750,000	生徒送迎バス運行 N:1台	
19	高等部通学バス輸送業務委託(2、学期)	なゆた観光自動車(有)	11,771,000	9,350,000	0	9,350,000	一般	R4.9.1 ~ R5.3.31	R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 R5.2.28 R5.3.31 R5.4.28 小計	1,336,500 1,336,500 1,336,500 1,336,500 1,336,500 1,331,000 9,350,000	生徒送迎バス運行 N:1台	
20	通学臨時バス輸送業務委託(その2)	なゆた観光自動車(有)	5,251,400	4,070,000	0	4,070,000	一般	R4.9.1 ~ R4.12.28	R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 小計	1,017,500 1,017,500 1,017,500 1,017,500 4,070,000	生徒送迎バス運行 N:1台	
21	高等部通学臨時バス輸送業務委託(その2)	巴観光(株)	3,557,500	2,286,900	0	2,286,900	一般	R4.9.1 ~ R4.12.28	R4.10.31 R4.11.30 R4.12.26 R5.1.31 小計	571,725 571,725 571,725 571,725 2,286,900	生徒送迎バス運行 N:1台	
22	産業廃棄物(厨房グリストラップ等)収集運搬処分業務委託	㈱大洋サービス	77,000	77,000	0	77,000	随契	R4.11.7 ~ R5.2.28	R5.2.13 小計	77,000	産業廃棄物(厨房グリストラップ廃油等)収集運搬処分	随契1号(少額)
23	通学臨時バス輸送業務委託(その3)	巴観光(株)	5,038,000	3,606,900	0	3,606,900	指名	R5.1.4 ~ R5.3.31	R5.2.28 R5.3.30 R5.4.28 小計	1,202,300 1,202,300 1,202,300 3,606,900	生徒送迎バス運行 N:1台	
24	産業廃棄物(金属くず)収集運搬処分業務委託	㈱リサイクルルクリーン	29,700	29,700	0	29,700	随契	R5.1.11 ~ R5.3.31	R5.4.28 小計	29,700	産業廃棄物(金属くず等)収集運搬処分	随契1号(少額)
25	一般廃棄物(刈枝、草)収集運搬処理業務委託	環境保全㈱	25,300	25,300	0	25,300	随契	R5.2.15 ~ R5.3.31	R5.3.31 小計	25,300	一般廃棄物(刈枝、草)運搬処理	随契1号(少額)
	事務関係計	25件								69,350,827		
	合計	25件								69,350,827		

委託料に関する調

(令和4年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検		12,320,000	0	12,320,000		R4.4.1 ~ R5.3.31			消防用設備等の点検業務 年2回	浜松商業高校
参考2	プール浄化装置保守業務委託	清化工業㈱		998,800	0	998,800		R4.4.8 ~ R4.11.30			プール浄化装置設備点検 年2回 N:1台	浜松東高校
参考3	防鼠防虫業務委託	㈱帝装化成 浜松営業所		331,100	0	331,100		R4.4.15 ~ R5.3.31			点検・生育調査 毎月1回 薬剤散布 年2回	浜松特別支援学校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト㈱		2,200,440	0	2,200,440		R4.4.1 ~ R5.3.31			自家用電気工作物定期点検 月次点検5回 年次点検1回	浜松湖東高校
参考5	機械警備業務委託	総合警備保障 ㈱静岡支社		3,564,000	0	3,564,000		R元.10.1 ~ R6.9.30			警報機器による警備 侵入、火災の監視 (事務室 他)	湖西高校 R元長期
参考6	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	㈱白柳一級建築設計事務所		3,905,000	0	3,905,000		R4.9.30 ~ R5.2.28			建築基準法第12条に基づく定期点検	湖西高校
	計	6件										

委託料に関する調

(令和5年度)
(令和5年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス輸送業務委託	巴観光(株)	70,001,184	39,728,700	0	39,728,700	一般	R5.4.1 ~ R8.3.31	累計金額 R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	(0) 1,732,775 1,732,775 1,732,775 5,198,325	生徒送迎バス 運行 N:2台	R5長期
2	高等部通学バス輸送業務委託	巴観光(株)	19,937,973	9,426,648	0	9,426,648	一般	R5.4.1 ~ R6.3.31	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	1,143,054 1,143,054 1,143,054 3,429,162	生徒送迎バス 運行 N:2台	
3	スクールバス運行管理業務委託	大新東(株) 静岡営業所	19,008,000	17,820,000	0	17,820,000	一般	R5.4.1 ~ R8.3.31	累計金額 R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	(0) 495,000 495,000 495,000 1,485,000	生徒送迎 スクールバス 運行管理 N:1台	R5長期
4	給食業務委託	株ミカサ	50,379,678	42,328,000	0	42,328,000	一般	R2.8.3 ~ R5.7.31	累計金額 R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	(37,624,884) 1,175,779 1,175,779 1,175,779 3,527,337	給食調理・ 配膳	R2長期
5	可燃物収集運搬処理業務委託	環境保全(株)	単価契約 運搬料 1回2,475 円 処分料 1回13.2円	単価契約 運搬料 1回1,650 円 処分料 1回13.2円	0	単価契約 運搬料 1回1,650 円 処分料 1回13.2円	随契	R5.4.7 ~ R6.3.29	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	30,921 35,169 36,236 102,326	可燃ごみ収集 運搬処理 週3回	随契1号 (少額) 単価契約 新居高校 湖西高校
6	エレベータ保守点検業務委託	フジテック(株) 静岡支店	790,680	781,440	0	781,440	随契	R5.4.1 ~ R6.3.31	小計	0	エレベータ 保守点検 N:1台	随契1号 (少額)
7	産業廃棄物(廃プラスチック)収集運搬処理業務委託	株星山金属	単価契約 収集運搬料 1回1,650 円 処分料	単価契約 収集運搬料 1回1,650 円 処分料	0	単価契約 収集運搬料 1回1,650 円 処分料	随契	R5.4.10 ~ R6.3.29	R5.5.31 R5.6.30 R5.7.31 小計	7,920 2,640 4,290 14,850	産業廃棄物 (廃プラスチック) 収集運搬処分	随契1号 (少額) 単価契約
8	産業廃棄物(厨房グリストラップ廃油等)収集運搬処分業務委託	株大洋サービス	103,400	103,400	0	103,400	随契	R5.7.3 ~ R5.9.29	小計	0	産業廃棄物 (厨房グリス トラップ廃油 等)収集運搬 処分	随契1号 (少額)
	事務関係計	8件								13,757,000		
	合計	8件								13,757,000		
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検		12,320,000	0	12,320,000		R5.4.1 ~ R6.3.31			消防用設備等 の点検業務 年2回	浜松商 業 高 校
参考2	プール浄化装置保守点検業務委託	清化工業(株)		998,800	0	998,800		R5.4.10 ~ R5.11.30			プール浄化 装置設備点 検 年2回 N:1台	浜松東 高 校
参考3	防鼠防虫業務委託	株帝装化成 浜松営業所		459,800	0	459,800		R5.4.14 ~ R6.3.29			点検・生育 調査 毎月1回 薬剤散布 年2回	浜松特 別 支 援 学 校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト(株)		2,588,520	0	2,588,520		R5.4.1 ~ R6.3.31			自家用電気 工作物定期 点検 月次点検5回 年次点検1回	浜松湖 東 高 校
参考5	機械警備業務委託	綜合警備保 障(株) 静岡支社		3,564,000	0	3,564,000		R元.10.1 ~ R6.9.30			警報機器に よる警備 侵入、火災の 監視 (事務室他)	湖西高 校 R元長期
	計	5件										

負担金支出調

(令和4年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国特別支援学校知的障害教育校長会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	全国特別支援学校知的障害教育校長会則	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	11,000	R4.7.15
2	湖西地区安全運転管理協会費	湖西地区安全運転管理協会	湖西地区安全運転管理協会則	安全運転管理体制の充実強化、交通安全に寄与	25,000	R4.7.21
3	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	5,000	R4.7.22
4	安全運転管理講習者等講習手数料	湖西地区安全運転管理協会	道路交通法第108条の2第1項第1号	安全運転管理者の資質向上及び交通安全に寄与	4,500	R4.8.3
5	体験型防犯講座「あぶとれ！」負担金	静岡県くらし・環境部県民生活局	開催要項	子どもたちが巻き込まれる犯罪の予防、防犯意識の高揚	10,000	R5.3.16
計					55,500	

負担金支出調

(令和5年度)

(令和5年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国特別支援学校知的障害教育校長会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	全国特別支援学校知的障害教育校長会則	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	15,000	R5.7.6
2	湖西地区安全運転管理協会費	湖西地区安全運転管理協会	湖西地区安全運転管理協会則	安全運転管理体制の充実強化、交通安全に寄与	25,000	R5.7.19
3	第46回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	開催要項	特別支援教育の向上を図るための研修事業	3,000	R5.7.28
4	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約	知的障害者の教育、特別支援学校の管理・運営に関する調査研究	5,000	R5.7.28
計					48,000	

建 築

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	浜名特別支援学校 生徒昇降口除湿機 設置工事	湖西市新居町 浜名	円 1,815,000	円 1,815,000	円 0
2	教育管理費	浜名特別支援学校 新校舎地下1階機械 室扉改修工事	湖西市新居町 浜名	442,200	418,000	0
3	教育管理費	浜名特別支援学校 保健室空調設備更新 工事	湖西市新居町 浜名	693,000	693,000	0
4	教育管理費	浜名特別支援学校 消火ポンプ流量計等 取替工事	湖西市新居町 浜名	440,000	435,600	0
		合 計	4 件	3,390,200	3,361,600	0

令和5年度 該当なし

工 事 調

(令和4年度)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 1,815,000	随契	南部電設(株)	R4.7.5 R4.8.24	円 1,815,000	業務用除湿機設置1台(電源工事を含む)	済	令達 R4.6.16 支払 R4.9.21 随契第1号(少額)
418,000	随契	(有)スズシゲ硝子建材	R4.8.4 R4.9.16	418,000	親子開きアルミドア取替1セット		令達 R4.7.15 支払 R4.10.17 随契第1号(少額)
693,000	随契	万菱調機(株)	R4.11.21 R5.1.18	693,000	空冷ヒートポンプパッケージエアコン取替1台	済	令達 R4.11.8 支払 R5.2.7 随契第1号(少額)
435,600	随契	(有)山口燃料	R4.12.26 R5.3.29	435,600	デジタル流量計1台取替 流量試験用止水弁2個取替		令達 R4.12.12 支払 R5.4.14 随契第1号(少額)
3,361,600				3,361,600			

公 有 財 産 調

(令和 4 年度)

区 分	令和 3 年 3 月 31 日 現在		増		減		令和 4 年 3 月 31 日 現在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 格 価	数量又 は面積	台 帳 格 価	数量又 は面積	台 帳 格 価	数量又 は面積	台 帳 格 価	
行政財産		千円 572,971		千円 2,465		千円 35,100		千円 540,336	
建 物	m ² 1,827.55 5,112.23	493,707				27,945	m ² 1,827.55 5,112.23	465,762	
工 作 物	個 75	79,264	個 3	2,465	個 1	7,155	個 77	74,574	
公有財産に 準ずるもの		263		0		0		263	
電話加入権	件 4	263	件		件		件 4	263	

令和 5 年度 異動なし

借 地 借 家 等 調

(令和 5 年 7 月 31 日 現在)

整理 番号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土 地	学校敷地	湖西市新居町 浜名1855-71 外 9 筆	宅地	学校敷地	m ² 12,276.88	円	円 無償	R 4 . 4 . 1 ~ R 7 . 3 . 31	浜名学園組合 管理者 湖西市長	校舎、 運動場 敷地
2	土 地	学校敷地	湖西市新居町 浜名1855-70 外18筆	山林 畑 原野	学校敷地	m ² 11,473.18 (3,350.75坪) (30.00坪) (91.00坪)	円 (450) (600) (950)	円 1,612,284	R 4 . 4 . 1 ~ R 7 . 3 . 31	浜名学園組合 管理者 湖西市長	畑
3	土 地	公衆用 道路	湖西市新居町 浜名1855-71	道路	市道	m 3.39		免除	H27.4.1 ~ R 7 . 3 . 31	湖西市長	排水管
	計					23,753.45		1,612,284			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)

(令和5年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)							
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
債務負担行為		(契約日)	円	円	円	円	円	円	円	円	円
長期継続契約	通学バス輸送業務委託	通学バスの輸送 (契約日)R2.4.1	30,305,750	12,780,691	13,151,424	4,373,635					
	通学バス輸送業務委託	通学バスの輸送 (契約日)R5.4.1	39,728,700			15,130,500	12,299,100	12,299,100			
	高等部通学バス輸送業務委託	通学バスの輸送 (契約日)R2.4.1	18,115,308	7,680,877	7,809,876	2,624,555					
	スクールバス運行管理業務委託	スクールバスの運行・管理 (契約日)R2.4.1	17,183,401	5,699,401	5,742,000	5,742,000					
	スクールバス運行管理業務委託	スクールバスの運行・管理 (契約日)R5.4.1	17,820,000			5,940,000	5,940,000	5,940,000			
	給食業務委託	給食の調理・配膳 (契約日)R2.8.3	42,328,000	9,406,188	14,109,348	14,109,348	4,703,116				
	学校敷地賃貸借	学校敷地の賃貸借 (契約日)R4.4.1	4,836,852			1,612,284	1,612,284	1,612,284			

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年7月31日現在)

整理番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	湖西市新居町浜名1855-71	建物	校舎	m	円	円	R5.4.1 ~ R6.3.31	湖西市長	基準点設置
合計								円			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和5年7月31日現在)

整理番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	湖西市新居町浜名1855-71	土地	学校敷地	m	円	円	R4.4.1 ~ R7.3.31	浜名特別支援学校PTA会長	屋外時計設置
合計								円			

主要備品調

(令和5年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額 (円)
	大・中	小				
1	10-08	その他の芸術 用器具	台車式電気陶芸窯 日陶 NRS-20RF	年間30日 授業(陶芸)に使用	H14.3	2,250,150
2	01-13	その他の厨房 器具	真空冷却器 三浦工業 CMJ-20QE	年間191日 給食調理に使用	H25.3	2,170,350
3	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式)他 富士通 ESPRIMO D588/B 他	年間60日 授業・教材	R2.1	1,881,110
4	03-03	プロジェクター	プロジェクター マクセル MC-BW302J	年間60日 授業・教材	R3.3	1,402,711
5	06-09	木工用機械	軸傾斜横挽丸鋸盤 石津製作所 ISC-1300	年間160日 授業(木工)に使用	H14.3	1,344,000
6	10-99	その他の教育 用器具	遊具「プルルン」 CP-01462	年間200日 体力づくり、昼休み使	H28.3	1,281,960
7	06-09	木工用機械	自動一面かんな盤 鈴三鉄工所 GN40	年間160日 授業(木工)に使用	H14.3	1,092,000
8	01-13	調理器具	スチームパンクションオープン ラショナル SCC-WE61	年間191日 給食調理に使用	H24.3	1,072,050
9	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 富士通 FMV-A8390	年間60日 授業・教材・文書作成	H22.3	977,550
10	02-01	その他の情報 処理機器	校内LANサーバー一式 HP DL320	年間365日 校内LANに使用	H21.7	793,800
11	01-13	調理器具	ティルティングパン コメットカトウ CSP3-70F	年間191日 給食調理に使用	H24.3	735,000
12	02-01	その他の情報 処理機器	教材用サーバー(校内LAN ファイルサーバー)	年間365日 校内LANに使用	H13.3	719,250
13	01-04	移動書庫	移動書庫 オカムラ N953BL	年間365日 文書保管用	H14.3	673,050
14	06-99	その他の諸 機器	集塵機 ムラコシ HM-5000	年間160日 授業(木工)に使用	H14.3	672,000
15	10-08	その他の芸術 用器具	真空土練機 日陶 NVA-07B	年間30日 授業(陶芸)に使用	H14.3	670,950
16	01-13	食品食器洗淨 機	食器洗淨機 日本洗淨器 SD114EA6	年間191日 給食調理に使用	H24.3	640,500
17	01-13	その他の厨房 器具	湿温蔵庫 ニチワ IHS-1560YAG	年間191日 給食調理に使用	H24.3	635,250
18	01-14	エアコンディショナ-	エアコンディショナー ダイキン SZAP80KV	年間103日 冷暖房用	H18.6	588,000
19	01-99	その他の庁用 器具	暗幕 体育館用	年間60日 授業・行事に使用	H14.3	586,950
20	10-99	その他の教育 用器具	滑り台 小型ネット付、踊り場高1.3m	年間200日 体力づくり、昼休み使	H16.11	556,500

生産物受払調

(令和5年7月31日現在)

区分	品名(単位)	小皿(枚)				小皿セット(セット)				三皿3枚セット(セット)				三皿5枚セット(セット)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(枚)				数量(セット)				数量(セット)				数量(セット)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	本年度生産高(イ)	0	11	0	11	25	0	0	25	0	18	0	18	25	0	0	25
	計	0	11	0	11	25	0	0	25	0	18	0	18	25	0	0	25
単位数量(イ/ア)																	
	同前年比(%) (b-a)/a×100	0.0				100.0				0.0				100.0			
払	売払数量	0	11	0	11	25	0	0	25	0	18	0	18	25	0	0	25
	売払金額	0	1,100	0	1,100	7,500	0	0	7,500	0	2,700	0	2,700	6,250	0	0	6,250
高	非売品 数量	分類換			0				0				0				0
		管理換 その他				0							0				0
	計	0	11	0	11	25	0	0	25	0	18	0	18	25	0	0	25
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摘要																

区分	品名(単位)	ハートの小皿(枚)				中皿(小)(枚)				中皿(大)(枚)				中皿(四角)(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(枚)				数量(枚)				数量(枚)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	本年度生産高(イ)	68	0	0	68	0	40	0	40	0	10	0	10	17	0	0	17
	計	68	0	0	68	0	40	0	40	0	10	0	10	17	0	0	17
単位数量(イ/ア)																	
	同前年比(%) (b-a)/a×100	100.0				0.0				0.0				100.0			
払	売払数量	68	0	0	68	0	40	0	40	0	10	0	10	17	0	0	17
	売払金額	3,400	0	0	3,400	0	8,000	0	8,000	0	2,000	0	2,000	3,400	0	0	3,400
高	非売品 数量	分類換			0				0				0				0
		管理換 その他				0							0				0
	計	68	0	0	68	0	40	0	40	0	10	0	10	17	0	0	17
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摘要																

区分	品名(単位)	中皿(丸)(枚)				大皿(枚)				豆皿(セット)				角皿(枚)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(枚)				数量(枚)				数量(セット)				数量(枚)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	本年度生産高(イ)	18	0	0	18	29	0	0	29	0	34	0	34	34	44	0	10
	計	18	0	0	18	29	0	0	29	0	34	0	34	34	44	0	10
単位数量(イ/ア)																	
	同前年比(%) (b-a)/a×100	100.0				100.0				0.0				29.4			
払	売払数量	18	0	0	18	29	0	0	29	0	34	0	34	34	44	0	10
	売払金額	3,600	0	0	3,600	14,500	0	0	14,500	0	3,400	0	3,400	6,800	8,800	0	2,000
高	非売品 数量	分類換			0				0				0				0
		管理換 その他				0							0				0
	計	18	0	0	18	29	0	0	29	0	34	0	34	34	44	0	10
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摘要																

区分	品名(単位)	正方形皿(枚)				八角形皿(枚)				グラタン皿(枚)				小鉢(鉢)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(枚)				数量(枚)				数量(枚)				数量(鉢)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	0	6	0	6	0	7	0	7	0	12	0	12	84	0	0	84
高	計	0	6	0	6	0	7	0	7	0	12	0	12	84	0	0	84
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%)	$(b-a)/a \times 100$	0.0				0.0				0.0				100.0			
払	売払数量	0	6	0	6	0	7	0	7	0	12	0	12	84	0	0	84
	売払金額	0	1,500	0	1,500	0	1,400	0	1,400	0	2,400	0	2,400	16,800	0	0	16,800
高	非売品	分類換				0				0				0			
	数量	管理換 その他				0				0				0			
高	計	0	6	0	6	0	7	0	7	0	12	0	12	84	0	0	84
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	摘要																

区分	品名(単位)	ゆのみセット(セット)				どんぶり(個)				湯呑(個)				碗(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(セット)				数量(個)				数量(個)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	10	0	0	10	6	0	0	6	0	7	0	7	0	8	0	8
高	計	10	0	0	10	6	0	0	6	0	7	0	7	0	8	0	8
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%)	$(b-a)/a \times 100$	100.0				100.0				0.0				0.0			
払	売払数量	10	0	0	10	6	0	0	6	0	7	0	7	0	8	0	8
	売払金額	2,000	0	0	2,000	1,800	0	0	1,800	0	1,400	0	1,400	0	1,200	0	1,200
高	非売品	分類換				0				0				0			
	数量	管理換 その他				0				0				0			
高	計	10	0	0	10	6	0	0	6	0	7	0	7	0	8	0	8
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	摘要																

区分	品名(単位)	花瓶(陶)(個)				植木鉢(個)				ペン立て(陶)(個)				小物入れ(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(個)				数量(個)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	4	3	0	1	0	12	0	12	28	0	0	28	15	10	0	5
高	計	4	3	0	1	0	12	0	12	28	0	0	28	15	10	0	5
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%)	$(b-a)/a \times 100$	25.0				0.0				100.0				33.3			
払	売払数量	4	3	0	1	0	12	0	12	28	0	0	28	15	10	0	5
	売払金額	800	750	0	50	0	600	0	600	5,600	0	0	5,600	3,000	3,000	0	0
高	非売品	分類換				0				0				0			
	数量	管理換 その他				0				0				0			
高	計	4	3	0	1	0	12	0	12	28	0	0	28	15	10	0	5
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	摘要																

区分	品名(単位)	ミニ筒(かざり)(個)				卓上棚(個)				ファイルラック(個)				ペン立て(木)(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(個)				数量(個)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	14	6	0	8	14	0	0	14	20	0	0	20	30	5	0	25
高	計	14	6	0	8	14	0	0	14	20	0	0	20	30	5	0	25
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%) (b-a)/a×100		57.1				100.0				100.0				83.3			
払	売払数量	14	6	0	8	14	0	0	14	20	0	0	20	30	5	0	25
	売払金額	4,200	1,800	0	2,400	6,300	0	0	6,300	6,000	0	0	6,000	6,000	1,500	0	4,500
高	非売品																
	数量																
高	計	14	6	0	8	14	0	0	14	20	0	0	20	30	5	0	25
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要																	

区分	品名(単位)	テーブルカッター(個)				コースター(木)(枚)				花瓶(本)				ティッシュボックスケース(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(枚)				数量(本)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	11	0	0	11	10	30	0	20	0	6	0	6	0	12	0	12
高	計	11	0	0	11	10	30	0	20	0	6	0	6	0	12	0	12
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%) (b-a)/a×100		100.0				200.0				0.0				0.0			
払	売払数量	11	0	0	11	10	30	0	20	0	6	0	6	0	12	0	12
	売払金額	6,600	0	0	6,600	1,000	3,000	0	2,000	0	1,200	0	1,200	0	3,600	0	3,600
高	非売品																
	数量																
高	計	11	0	0	11	10	30	0	20	0	6	0	6	0	12	0	12
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要																	

区分	品名(単位)	コースター(個)				ランチョンマット(枚)				巾着袋(小)(個)				巾着袋(中)(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(枚)				数量(個)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	46	14	0	32.0	34	0	0	34	35	0	0	35	30	0	0	30
高	計	46	14	0	32.0	34	0	0	34	35	0	0	35	30	0	0	30
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%) (b-a)/a×100		69.6				100.0				100.0				100.0			
払	売払数量	46	14	0	32	34	0	0	34	35	0	0	35	30	0	0	30
	売払金額	2,300	2,800	0	500	6,800	0	0	6,800	7,000	0	0	7,000	15,000	0	0	15,000
高	非売品																
	数量																
高	計	46.0	14	0	32.0	34	0	0	34	35	0	0	35	30	0	0	30
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要																	

区分	品名(単位)	巾着袋(大)(個)				巾着(まち無し)(個)				巾着(まち付き)(個)				クリスマスマスコット(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(個)				数量(個)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	17	0	0	17	0	12	0	12	0	12	0	12	42	0	0	42
高	計	17	0	0	17	0	12	0	12	0	12	0	12	42	0	0	42
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%) (b-a)/a×100		100.0				0.0				0.0				100.0			
払	売払数量	17	0	0	17	0	12	0	12	0	12	0	12	42	0	0	42
	売払金額	15,300	0	0	15,300	0	3,600	0	3,600	0	4,200	0	4,200	2,100	0	0	2,100
高	非売品	分類換			0				0				0				0
	数量	管理換 その他			0				0				0				0
高	計	17	0	0	17	0	12	0	12	0	12	0	12	42	0	0	42
高	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	摘要																

区分	品名(単位)	オーナメント大(個)				オーナメント小(個)				クリスマスオーナメント(セット)				プランターカバー(個)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(個)				数量(セット)				数量(個)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	12	0	0	12	24	0	0	24	0	6	0	6	0	14	0	14
高	計	12	0	0	12	24	0	0	24	0	6	0	6	0	14	0	14
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%) (b-a)/a×100		100.0				100.0				0.0				0.0			
払	売払数量	12	0	0	12	24	0	0	24	0	6	0	6	0	14	0	14
	売払金額	600	0	0	600	600	0	0	600	0	1,200	0	1,200	0	7,000	0	7,000
高	非売品	分類換			0				0				0				0
	数量	管理換 その他			0				0				0				0
高	計	12	0	0	12	24	0	0	24	0	6	0	6	0	14	0	14
高	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	摘要																

区分	品名(単位)	お花のピンチ(個)				じゃがいも(500g)(袋)				じゃがいも(700g)(袋)				じゃがいも(北あかり)(kg)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(個)				数量(袋)				数量(袋)				数量(kg)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高	0	17	0	17	23	0	0	23	0	15	0	15	0	3.35	0	3.35
高	計	0	17	0	17	23	0	0	23	0	15	0	15	0	3.35	0	3.35
単位数量(イ/ア)																	
同前年比(%) (b-a)/a×100		0.0				100.0				0.0				0.0			
払	売払数量	0	17	0	17	0	0	0	0	0	15	0	15	0	3.35	0	3.35
	売払金額	0	1,700	0	1,700	0	0	0	0	0	2,250	0	2,250	0	750	0	750
高	非売品	分類換			0	23			23				0				0
	数量	管理換 その他			0				0				0				0
高	計	0	17	0	17	23	0	0	23	0.0	15	0	15	0	3.35	0	3.35
高	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	摘要																

区分	品名(単位)	大根(kg)				大根(本)				ナス(本)				ピーマン(kg)			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	重さ(kg)				数量(本)				数量(個)				重さ(kg)			
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	本年度生産高	10.5	0	0	10.5	31	66	0	35	0	138	182	138	0	5.25	6.07	5.25
	計	10.5	0	0	10.5	31	66	0	35	0	138	182	138	0	5.25	6.07	5.25
単位数量(イ/ア)																	
	同前年比(%) (b-a)/a×100	100.0				112.9				0.0				0.0			
払	売払数量	0	0	0	0	31	38	0	7	0	88	182	88	0	1.85	6.07	1.85
	売払金額	0	0	0	0	1,550	1,900	0	350	0	3,128	6,370	3,128	0	555	2,731	555
高	非売品	分類換	10.5		10.5		28		28		50		50		3.40		3.40
		管理換 その他			0.0				0				0				0.00
	計	10.5	0	0	10.5	31	66	0	35	0	138	182	138	0	5.25	6.07	5.25
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摘要																

区分	品名(単位)	さつまいも(kg)				ノースポール(株)				キンセンカ(株)				計			
		3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a	3年度 a	4年度 b	5年7月 31日現在	差 b-a
単位	(ア)	数量(kg)				数量(株)				数量(株)							
受	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高	本年度生産高	0	6.8		6.8	0	13	0	13	0	20	0	20	766.5	623.4	188.1	143.1
	計	0	6.8	0	6.8	0	13	0	13	0	20	0	20	766.5	623.4	188.1	143.1
単位数量(イ/ア)																	
	同前年比(%) (b-a)/a×100	0.0				0.0				0.0							
払	売払数量	0	0.0	0	0.0	0	13	0	13	0	20	0	20	733.0	535.2	188.1	197.8
	売払金額	0	0	0	0	0	650	0	650	0	1,000	0	1,000	156,800	80,083	9,101	76,717
高	非売品	分類換		6.8		6.8			0				0	33.5	88.2	0	54.7
		管理換 その他			0.0				0				0	0	0	0	0.0
	計	0	6.8	0	6.8	0	13	0	13	0	20	0	20	766.5	623.4	188.1	143.1
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摘要																

職 員 調

(令和5年7月31日 現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	村松 尚美			年 月	
2	校長	大橋 早苗			年 月	
3	教頭	木本 恭嗣			年 月	
4	教諭	本田 祐子	高等部級外		年 月	
5	教諭	三井 陽子	高等部級外		年 月	
6	教諭	井口 律子	小学部 副部主事		年 月	
7	教諭	藤田 靖人	小6 - 1		年 月	
8	教諭	飯田 容子	高等部級外		年 月	
9	教諭	山田 浩	中1 学年主任		年 月	
10	教諭	疋田 俊輔	高2 - 2		年 月	
11	教諭	井島 裕之	中3 - 1		年 月	
12	教諭	曾布川 悦治	小3 学年主任		年 月	
13	教諭	高木 弘詠	小6 学年主任		年 月	
14	教諭	大久保 和子	高等部級外		年 月	
15	教諭	石田 かおり	中学部 副部主事		年 月	
16	教諭	齋藤 雅志	小学部 部主事		年 月	
17	教諭	後藤 愛子	高1 学年主任		年 月	
18	教諭	古川 純	高2 - 3		年 月	
19	教諭	米本 寿恵	高等部級外		年 月	
20	教諭	服部 佳央	高3 - 2		年 月	
21	教諭	若月 淳子	小学部 副部主事		年 月	
22	教諭	井上 久美子	中学部 部主事		年 月	
23	教諭	中村 ゆう子	高3 学年主任		年 月	
24	教諭	下田 由貴	高2 学年主任		年 月	
25	教諭	鈴木 将宏	高等部 部主事		年 月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
26	教諭	廣岡友里	小2 学年主任		年 月	
27	教諭	望月佑美	中学部級外		年 月	
28	教諭	増田太一	小4 学年主任		年 月	
29	教諭	松本貴宏	高等部 副部主事		年 月	
30	教諭	鈴木一平	高等部級外		年 月	
31	教諭	小田木克成	高等部級外		年 月	
32	教諭	田中真弓	小3 - 1		年 月	
33	教諭	市河美加	小1 学年主任		年 月	
34	教諭	金原麻紀子	高等部級外		年 月	
35	教諭	濱田周子	小3 - 1		年 月	
36	教諭	中村礼美	小2 - 1		年 月	
37	教諭	八木信耶	高等部級外		年 月	
38	教諭	間淵由佳			年 月	
39	教諭	長谷川智美	小1 - 1		年 月	
40	教諭	金涌良	中2 学年主任		年 月	
41	教諭	渡邊結香理	中3 - 3		年 月	
42	教諭	濱口翔	高等部級外		年 月	
43	教諭	榊原久美子			年 月	
44	教諭	風間真由子	高3 - 3		年 月	
45	教諭	村田範子	小3 - 2		年 月	
46	教諭	金田晃徳	小5 学年主任		年 月	
47	教諭	鈴木まい	高1 - 1		年 月	
48	教諭	山本捷太	高2 - 1		年 月	
49	教諭	中村和希子	中3 学年主任		年 月	
50	教諭	笹瀬麻理奈	高1 - 1		年 月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
51	教諭	野中千裕	小1-2		年 月	
52	教諭	村井海帆	小5-2		年 月	
53	教諭	田口有菜			年 月	
54	教諭	伊藤伶奈	小1-1		年 月	
55	教諭	三坂綾奈			年 月	
56	教諭	小原結衣	中2-3		年 月	
57	教諭	宮下稜平	小6-3		年 月	
58	教諭	笹木将行	中2-1		年 月	
59	教諭	小林勇人	高3-1		年 月	
60	教諭	大須賀泉希	小5-3		年 月	
61	教諭	高野唯	小1-2		年 月	
62	教諭	仲村佳美	高2-1		年 月	
63	教諭	中曽利菜	中学部級外		年 月	
64	教諭	森田英那	小4-2		年 月	
65	教諭	石牧亜美	高3-3		年 月	
66	教諭	佐藤花菜	小2-3		年 月	
67	養護教諭	大場愛子	養護		年 月	
68	養護教諭	細田華菜	養護		年 月	
69	栄養教諭	増田久美	給食業務		年 月	
70	事務長	中村光子	事務総括		年 月	
71	主査	小澤徳洋	管財会計		年 月	
72	主任	伊東宏峻	会計庶務		年 月	
73	主事	樽林彩加	庶務会計		年 月	
平均年数					年 月	

臨時職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	山田 良子	小3 - 3		年 月	
2	教諭(任)	増井 清恵	高等部級外		年 月	
3	教諭(任)	河邊 容子	中2 - 1		年 月	
4	教諭(臨)	平尾 美樹	小学部級外		年 月	
5	教諭(臨)	宝満 泰子	小学部級外		年 月	
6	教諭(臨)	定直 友美	小学部級外		年 月	
7	教諭(臨)	谷川 勝紀	中学部級外		年 月	
8	教諭(臨)	影山 訓子	高2 - 1		年 月	
9	養護教諭(臨)	山下 真智子	養護		年 月	
10	医療的ケア看護職員	八木 直実	看護		年 月	
11	非常勤講師	前田 貴子	中学部級外		年 月	
12	非常勤労務職員	尾藤 武彦	用務		年 月	
13	非常勤労務職員	袴田 浩行	用務		年 月	
14	非常勤労務職員	小松 孝子	スクール介助		年 月	
15	非常勤労務職員	渥美 良和	スクール介助		年 月	
16	非常勤労務職員	前田 耕一	スクール介助		年 月	
17	非常勤労務職員	高村 美治	スクール介助		年 月	
18	非常勤労務職員	木野 千絵子	コロナ対策業務		年 月	
19	非常勤労務職員	朝倉 多賀子	コロナ対策業務		年 月	
20	非常勤労務職員	田中 つばさ	コロナ対策業務		年 月	
21	学校医	藤田 周子	内科		年 月	
22	学校医	有木 玄	眼科		年 月	
23	学校医	門園 明	耳鼻科		年 月	
24	学校医	松下 聡	整形外科		年 月	
25	学校医	鳥居 賢一	歯科		年 月	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
26	学校 薬剤師	徳 永 大 祐			年 月	
27	健康 管理医	疋 田 博 之			年 月	

職 員 の 年 齢 調

(令和5年7月31日 現在)

年 齢	人 員	備 考
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	21	
30歳以上40歳未満	19	
40歳以上50歳未満	15	
50歳以上56歳未満	7	
56歳以上61歳未満	9	
61歳以上	2	2 人
計	73	平均年齢 39.6歳

健康管理

1 令和4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 74 人 職員数 75 人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由
人

2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	要 治 療	0 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0 人
B 2		要経過観察	0 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0 人
C 2		要経過観察	0 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	9 人 (9)
D 2		要経過観察	7 人 (7)
D 3		医 療 不 要	57 人 (38)
区 分 者 計			73 人
未区分者数			0 人
合 計			73 人

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由
 ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人
 ()